

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成24年4月分)

ご協力ありがとうございました。平成24年4月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 165社 回答 149社 回答率 90.3%

調査項目	前 月 比						前 年 同 月 比					
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計
売上数量	10社 6.8% (5.8)	17社 11.6% (18.8)	42社 28.6% (34.4)	55社 37.4% (33.1)	23社 15.6% (7.8)	147社	28社 19.3% (21.2)	21社 14.5% (15.9)	34社 23.4% (29.1)	40社 27.6% (19.2)	22社 15.2% (14.6)	145社
売上高	9社 6.2% (7.1)	17社 11.6% (18.7)	43社 29.5% (33.5)	51社 34.9% (32.3)	26社 17.8% (8.4)	146社	24社 16.7% (18.4)	21社 14.6% (17.1)	33社 22.9% (25.0)	41社 28.5% (21.7)	25社 17.4% (17.8)	144社
在庫数量	3社 2.1% (2.0)	26社 18.2% (24.0)	80社 55.9% (50.7)	30社 21.0% (19.3)	4社 2.8% (4.0)	143社	17社 12.1% (12.8)	26社 18.4% (18.8)	53社 37.6% (42.3)	31社 22.0% (19.5)	14社 9.9% (6.7)	141社
販売単価	3社 2.1% (0.7)	5社 3.5% (3.3)	97社 68.3% (71.5)	36社 25.4% (23.2)	1社 0.7% (1.3)	142社	1社 0.7% (1.4)	7社 5.1% (10.2)	63社 45.7% (44.2)	52社 37.7% (34.7)	15社 10.9% (9.5)	138社
収益状況 (粗利)	4社 2.8% (3.9)	18社 12.5% (13.7)	67社 46.5% (41.8)	38社 26.4% (34.6)	17社 11.8% (5.9)	144社	13社 9.2% (7.9)	14社 9.9% (14.6)	63社 44.4% (38.4)	33社 23.2% (22.5)	19社 13.4% (16.6)	142社
稼働率 (生産・加工設備)	4社 3.3% (2.3)	8社 6.6% (9.4)	57社 46.7% (52.3)	40社 32.8% (29.7)	13社 10.7% (6.3)	122社	15社 12.6% (14.3)	14社 11.8% (17.5)	49社 41.2% (42.9)	29社 24.4% (15.9)	12社 10.1% (9.5)	119社
入出庫の トラック台数	3社 2.1% (3.4)	13社 9.2% (8.7)	72社 50.7% (52.3)	42社 29.6% (30.2)	12社 8.5% (5.4)	142社	16社 11.7% (13.7)	14社 10.2% (15.1)	60社 43.8% (41.1)	32社 23.4% (21.9)	15社 10.9% (8.2)	137社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	0社 0.0% (1.4)	9社 6.6% (3.4)	54社 39.4% (43.5)	47社 34.3% (34.7)	27社 19.7% (17.0)	137社	2社 1.6% (0.7)	32社 24.8% (19.6)	75社 58.1% (62.9)	17社 13.2% (15.4)	3社 2.3% (1.4)	129社
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(4月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 3月まではそれなりの動きがあったが、4月に入り動きは低調になっている。東北の復興関連も具合的な話にはならず、未だ不透明であるが、情報は常に取っていき、いつでも対応できる体制にしておきたい。4月に鉄鋼メーカーが値上げを発表しているが、川下へ行くほど値上げの状況ではなくなっている。
- ② 営業日は前月より1日減少ながら、第3週以降、繁忙感が出て来て、数量、売上ともに増加した。期末に絞った在庫の正常化の動きかも知れない。多少、物件向けも出て来ている気配もあり、ゴールデンウィーク明けもこの傾向が持続すれば、震災復興需要とうまく連動していけるかも知れない。
- ③ 震災関連需要も間欠的にあるものの、その動きも止まり、建築、土木など建設関連需要も前半月半ばから動きが止まり、停滞感が強い。材料値上げアナウンスもあるが、需要が落ち込んでいる状況では価格転嫁出来る局面にはない。
- ④ 4月は市況、荷動きともに最低水準で推移。中ごろよりメーカーの値上げ発表があったが、その後も全く動意がなく横這いである。4～6月は閑散期ではあるが、予想以上に悪く、直需のパイがかなり縮小していることがうかがえる。与信環境も連動して悪化している。
- ⑤ 5月連休明けの様子を見て、市況価格の動きを見極めたい。
- ⑥ 荷動きは良くないが、在庫も全鉄連の数字ほど過剰な感じはしない。輸入材、国内高炉材とも今の価格が最安値で、どちらも次回の入荷分から値上がりして来る。需給バランスに関係なく、母材の値上がりを売り値に転嫁していくしかない。市況も今が最安値で、安い価格帯から切り上がっていくと思われる。

中板

- ① 荷動きは変わらず低位安定。メーカーの店売り値上げに関しては、マーケットの反応が鈍く、需要環境から受け入れ難い状況にある。流通としては、陥没価格の早期是正が当面の課題となる。

厚板

- ① 前月に引き続いて橋梁の切板がピークを迎え、数量は大幅に増加した。しかし、成約工事の納入が予定通りに進んでいること、また新規物件は夏以降になる見通しから、5月以降の数量は減少する見込みである。大型の鉄骨案件は下期以降に期待出来るものの、足下は低水準である。メーカーは陥没価格是正に向けての姿勢を打ち出しているが、末端需要が低迷していることから、市中は静観している状況であり、店売り分野の市況は上昇力が鈍く、相変わらず軟調である。

—舟安开金岡

- ① 前月比2営業日減だから、前月比減は当然としても、営業日数が同じ2月よりも悪く、更に地震でおたおたしていた前年同月比減の結果はショックである。見渡せば自動車、建機以外の鉄鋼需要は全滅だ。あと2ヶ月凌いで夏場になれば何とかなるとの楽観と、製造業空洞化深化の結果なのかとの悲観が錯綜する。

HI形鋼

- ① メーカーが5月販売価格据え置きを発表。4月契約の値上げ玉が近々入荷するので、早急に販売価格を上げるよう流通は動いている。4月の荷動きは低調だったが、GW明けの荷動きに期待。
- ② 需要に対する供給量が多すぎる。メーカーの生産を減らして、在庫を減らしたところが出発点になる。

異形棒鋼

- ① 新規物件が低調。我慢して荷動きの好転を待つしか方策は見当たらない。
- ② 2月以降、店売りは低位のまま。メーカーは、電力、エキストラ等で値上げを打ち出しているが、実需が伴わず単価は上がっていない。鉄源、スクラップは1円/kg下がっている。5月21日の東鉄の発表後に方向が出るだろう。

平鋼

- ① 荷動きは相変わらず低調。メーカー値上げにより価格の下落は止まったが、反転する力はなく、横這いで推移。

鋼管

- ① 4～6月は期待できず。7～9月まで我慢を要すると思われる。
- ② 4月は3月に比べて好転した。5月には受注増を予想しているので、少しずつ良くなって行くと思われる。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連は季節要因で多少低下するものの、エコカー補助金効果もあり、比較的堅調に推移している。また、建設機械関連は機種によってばらつきもあり、やや減少傾向となっている。仲間売り等の店売りの荷動きは盛り上がり欠ける状況が続いている。市況については、自動車の支給材値下げの影響もあり、弱含みとなっている。
- ② 空洞化の進行、自動車メーカーの集購価格下げ等、先行きに対する不安要素から当用買いに徹する動きとなっている。動き自体に活況感がなく、価格的にも弱含みが続いている。

その他

<曲げ加工>

- ① 東北の震災もやや落ち着いたせいもあり、前年比20%以上上昇した。また、今月は大手からの受注により、先月よりやや増加。全般的に見ればまだまだだが、良いときは良いが、悪いときは悪いで、まだら模様といったところだろうか。

<金属表面処理加工>

- ① 4月は紐付き扱い量が増加となるも、物件物の納期延期により、予想扱い数量より5%程度減少。スポットは高い水準で受注しており、遅延物件を含め5月は高位安定での操業を予定。引合い、成約とも活発なことから、5月以降、更に期待したい。